

# . 成績・GPA

## 1. 成績評価

成績評価は、シラバスに記載されている成績評価方法にしたがって行われます。合格した科目は、取り消したり、再度受講登録することはできません。

## 2. 成績

	評価		成績表への記載	成績証明書への記載
	記号	素点		
合格	S	100～90	記号表記と 素点表記	記号表記
	A	89～80		
	B	79～70		
	C	69～60		
	N	N	記号表記	
不合格	F	59～0	記号表記と素点表記	表記なし

記号「N」は「認定」を表します。単位互換等で認定された科目は、「N」と記載されます。

## 3. 成績発表

春学期は9月中旬、秋学期は3月下旬に発表します。

## 4. GPA

本学では、GPA (Grade Point Average) を導入しています。GPA とは大学の成績評価を数値化したもので、学力を測る指標となっています。GPA は、成績評価に記載しています。

GPA 値は、学内における奨学金審査等で用いられています。成績基準として GPA 値が各種奨学金やその他の申請等の条件となる場合には、別途募集要項等に記載します。

### (1) 本学の GPA 換算方法

(計算式)

$$\text{GPA} = \frac{(4 \text{ ポイント} \times \text{S の科目の単位数合計}) + (3 \text{ ポイント} \times \text{A の科目の単位数合計}) + (2 \text{ ポイント} \times \text{B の科目の単位数合計}) + (1 \text{ ポイント} \times \text{C の科目の単位数合計}) + (0 \text{ ポイント} \times \text{F の科目の単位数合計})}{\text{総単位数 (履修登録科目の単位数)}}$$

GPA 換算時の対象科目は、履修登録をしたすべての科目となります。

卒業要件に算入しない資格科目は除きます。

大学コンソーシアム京都単位互換科目、留学によって修得した認定科目など(評価が「N」と表される科目)は除きます。

## 5. 成績表記調査

シラバスに記載された評価基準、および授業の中での評価基準の説明を十分に理解した上で、明らかに自分の成績が誤りであると考えられ、それを具体的に説明できる場合、成績表記調査を申し出ることができます。

申請方法：指定された期間内に「成績表記調査申請書」を教務センターに提出してください。申請期間は成績発表時にお知らせします。

受付：「成績表記調査申請書」の記載内容を確認して、明らかに成績表記に誤りがあると思われる場合は、受け付けます。

回答：文書により回答します。

注意：成績表記が誤りであるケースは極めて少なく、学生本人が評価方法や授業中の説明を理解していないために、成績表記が誤りであると思いついているケースが大半です。事前に十分に検討してください。

## ．単位授与及び認定

### 1. 単位授与

授業科目を履修し、原則として春学期末または秋学期末に行われる試験に合格した者には、所定の単位が与えられます。

試験の方法は、p.15「試験」に示した筆記試験・レポート試験・実技試験などがありますが、科目によっては通常の授業時の成績を試験成績とすることがあります。

出席日数が不足している、あるいは途中で受講を放棄した場合は、その科目の単位は授与されません。

### 2. 単位授与の時期

単位授与は、原則として9月・3月（各学期終了後）に行います。

単位授与されるには、単位授与時期に、学籍状態が「在学」または「留学」中である必要があります。（「休学」中の場合は、単位授与されません）。

### 3. 他大学等で修得した単位の認定

教育上有益と認めた場合は、海外留学や国内留学、単位互換制度等を履修することができる。修得した単位は、60単位を限度とし学部教授会の審議を経て卒業認定単位として認めることがあります。なお、60単位の上限は、個々の留学プログラム毎ではなく、他大学等で修得した単位全体の上限となります。また、上限単位は、各学期の履修登録制限単位数を超えて認定する事は出来ませんので、注意してください。

## . 進級要件

### 1. 進級要件

進級するためには、各学年において学科で定めた要件を満たすことが必要です。

【経済学科、経営学科、心理学科、歴史文化学科、バイオサイエンス学科、バイオ環境デザイン学科、食農学科、健康スポーツ学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
卒業要件としての修得単位数	28 単位以上	60 単位以上	96 単位以上 (バイオ環境学部は 100 単位以上)
単位修得が必要な 大学共通 コア科目	スタートアップゼミ	スタートアップゼミ 日本語リテラシー ・ 数的処理 ・ 情報リテラシー 英語、英会話 キャリアデザイン ・ SLS ・ (バイオ環境学部 は SLS -B、 )  *外国人留学生は、日本語リテラシー ・ と数的処理 ・ の代替として、日本語 ・ の単位を修得していること。	英語 ・ 英会話 ・ SLS ・ (バイオ環境学部 は SLS 不要)  *外国人留学生は、さらに日本語 作文演習の単位を修得している こと。
単位修得が必要な 専門科目		経済学科：ミクロ経済入門、 マクロ経済入門 経営学科：会計学入門、経営 戦略論入門  心理学科： 社会・産業基礎演習、心理 演習、および心理学実験の 内、2 科目以上の単位を修 得していること。	
在学期間 休学期間 は除く	1 年次に 1 年間に学んでいる こと。	2 年次進級後に 1 年間に学 していること。	3 年次進級後に 1 年間に学し ていること。
留年期間・ 学費納入	留年期間は最低半年間とし、 入学年次生の 1 年生の該当学 費を納入する。	留年期間は最低半年間とし、 入学年次生の 2 年生の該当学 費を納入する。	留年期間は最低半年間とし、 入学年次生の 3 年生の該当学 費を納入する。

( 成績表の「認定単位数」枠内の単位 )

【看護学科、言語聴覚学科】

	2 年次終了時	3 年次終了時
卒業要件としての修得単位数	基礎分野における卒業要件 ( 2 2 単位以上の修得 )	—
修得科目	2 年次終了時までに関講した必修科目すべて	3 年次終了時までに関講した必修科目すべて

( 成績表の「認定単位数」枠内の単位 )

【機械電気システム工学科】

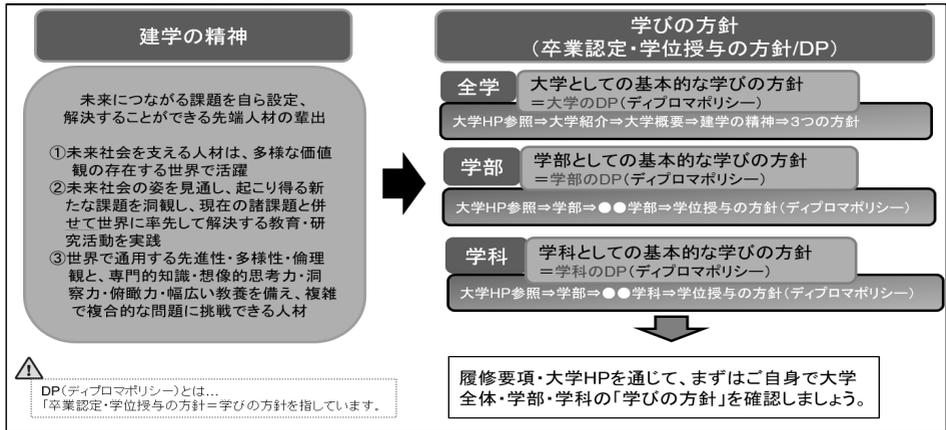
	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
卒業要件としての修得単位数	28 単位以上	60 単位以上	96 単位以上
必修科目 (共通)		英語科目より 必修 10 単位を含む 18 単位以上	
必修科目 (専門)	物理学 物理学 演習 微分積分と線形代数 微分積分と線形代数 演習		プレキャップストーンプロジェクト プレキャップストーンプロジェクト
在学期間 休学期間は除く	1 年次に 1 年間在学していること。	2 年次進級後に 1 年間在学していること。	3 年次進級後に 1 年間在学していること。
留年期間・ 学費納入	留年期間は最低半年間とし、入学年次生の 1 年生の該当学費を納入する。	留年期間は最低半年間とし、入学年次生の 2 年生の該当学費を納入する。	留年期間は最低半年間とし、入学年次生の 3 年生の該当学費を納入する。

( 成績表の「認定単位数」枠内の単位 )

# . 学修ポートフォリオについて

本学では、学生みなさん一人ひとりが自らの学びの成果（学修成果）を振り返るツールとして、「先端なび」の中に学修ポートフォリオシステムを導入しています。

## 1. 本学の建学の精神・学びの方針について



## 2. 先端なび「学修ポートフォリオ」システムについて

このシステムでは、「学びの方針(DP)の到達度を、レーダーチャートを利用し見える化」しています。

### ポイント

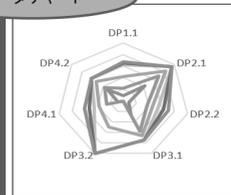
今回のシステム(学修ポートフォリオ)を通じ、定期的に自身の学びを振り返ることができます。

- ①「学びの方針(DP)」の到達度(学修成果)を振り返り、
- ②今後取り組むべき課題を発見することができます。

大学の学びでは、ただ単に授業を受講するに留まらず、4年間の学びを自ら開拓し深めていくことが重要になります。

このようなツールを使いながら、皆さん自身の学びを深化させていくことを期待しています。

レーダーチャート



## 3. 「学修ポートフォリオ」システムの使い方

皆さんの利用している、「先端なび」掲示版内に、「学修ポートフォリオ」の利用マニュアルが掲載されています。内容を熟読し「学期始まり」「学期終了時点」にレーダーチャートを確認しましょう。

## 卒業と学位

### 1. 卒業および学位

卒業するためには、大学が定める教育課程に従って学修し、次の卒業要件をすべて満たすことが必要です。

(1) 所定在学年数

8セメスター以上在学し、各学年1年以上在学していること。休学期間は在学年数に含まれません。

(2) 所定単位の修得

卒業に必要な単位数(要卒単位数)・必修条件等を満たしていること。

(3) 卒業判定

所定在学年数の要件を満たすことになる在学学生を対象に卒業判定を行います。この卒業判定に合格した場合に、卒業が認められます。

### 2. 学位

学部名	学科名	学位
経済経営学部	経済学科	学士(経済学)
	経営学科	学士(経営学)
人文学部	心理学科	学士(人文)
	歴史文化学科	学士(人文)
健康医療学部	看護学科	学士(看護学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	健康スポーツ学科	学士(健康スポーツ学)
バイオ環境学部	バイオサイエンス学科	学士(バイオ環境)
	バイオ環境デザイン学科	学士(バイオ環境)
	食農学科	学士(バイオ環境)
工学部	機械電気システム工学科	学士(工学)

### 3. 卒業見込

(1) 卒業見込証明書とは

「卒業見込証明書」とは卒業見込日が記載された証明書であり、就職試験や大学院入試等で受験先から提出を求められます。卒業見込は、卒業を保証するものではありません。

(2) 証明書発行基準

卒業見込証明書の発行基準は以下のとおりです。

第7セメスター開始時

卒業に必要な単位数(要卒単位数)から第7セメスターと第8セメスターで登録できる単位数を差し引いた単位を修得していること。

第8セメスター開始時

卒業に必要な単位数(要卒単位数)から第8セメスターで登録できる単位数を差し引いた単位を修得していること。第7セメスターで卒業見込証明書を発行されていた場合でも、成績次第で第8セメスターでは発行されない場合もあります。

【卒業見込証明書発行基準】

以下の表に記載されている各セメスター開始時の修得単位数（卒業要件に含まれる単位数）を満たしている場合、卒業見込証明書が発行されます。

所属学部	所属学科	卒業に必要な単位数	第7セメスター開始時 修得単位数	第8セメスター開始時 修得単位数
経済経営学部	経済学科	124 単位	76 単位以上	100 単位以上
	経営学科			
人文学部	歴史文化学科	128 単位	80 単位以上	104 単位以上
	心理学科	124 単位	76 単位以上	100 単位以上
健康医療学部	看護学科	124 単位	76 単位以上	100 単位以上
	言語聴覚学科			
	健康スポーツ学科			
バイオ環境学部	バイオサイエンス学科	128 単位	100 単位以上	102 単位以上
	バイオ環境デザイン学科			
	食農学科			
工学部	機械電気システム工学科	128 単位	76 単位以上	100 単位以上

## 卒業認定の基準(令和2年度入学生)

〔経済経営学部 経済学科〕

合計 **124** 単位（必修 **43** 単位、選択 **81** 単位）以上を修得し、かつ卒業論文の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から **50** 単位以上を修得。その内、未来展望科目から **4** 単位、アカデミック・スキル科目から必修 **5** 単位、英語科目から必修 **16** 単位、スタートアップ科目から必修 **4** 単位、キャリア教育科目から必修 **4** 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 **4** 単位を修得。

専門科目から **74** 単位以上を修得。その内、学部共通科目入門科目とキャリア科目から **8** 単位以上、学科専門科目基礎科目から必修 **10** 単位、並びに学部共通科目と学科専門科目から **44** 単位以上を修得。なお、他学部・他学科などで修得した単位は **12** 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：**48** 単位（年間））

〔経済経営学部 経営学科〕

合計 **124** 単位（必修 **41** 単位、選択 **83** 単位）以上を修得し、かつ卒業論文の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から **50** 単位以上を修得。その内、未来展望科目から **4** 単位、アカデミック・スキル科目から必修 **5** 単位、英語科目から必修 **16** 単位、スタートアップ科目から必修 **4** 単位、キャリア教育科目から必修 **4** 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 **4** 単位を修得。

専門科目から **74** 単位以上を修得。その内、学部共通科目入門科目とキャリア科目から **8** 単位以上、学科専門科目基礎科目から必修 **8** 単位、並びに学部共通科目と学科専門科目から **46** 単位以上を修得。なお、他学部・他学科などで修得した単位は **12** 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：**48** 単位（年間））

〔人文学部 心理学科〕

合計 **124** 単位（必修 **35** 単位、選択 **89** 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から **50** 単位以上を修得。その内、未来展望科目から **4** 単位、アカデミック・スキル科目から必修 **5** 単位、英語科目から必修 **16** 単位、スタートアップ科目から必修 **4** 単位、キャリア教育科目から必修 **4** 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 **4** 単位を修得。

学科専門科目から **62** 単位以上を修得。その内、基礎科目から **8** 単位、展開科目から必修 **2** 単位を含む **54** 単位を含める。

学科専門科目、他学部科目などから、任意に **12** 単位以上を修得（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：**48** 単位（年間））

〔人文学部 歴史文化学科〕

合計 **128** 単位（必修 **43** 単位、選択 **85** 単位）以上を修得し、かつ卒業研究の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から **50** 単位以上を修得。その内、未来展望科目から **4** 単位、アカデミック・スキル科目から必修 **5** 単位、英語科目から必修 **16** 単位、スタートアップ科目から必修 **4** 単位、キャリア教育科目から必修 **4** 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 **4** 単位を修得。

学科専門科目から **72** 単位以上を修得。その内、基礎科目から必修 **10** 単位を含む **22** 単位、展開科目 **22** 単位を含める。

学科専門科目、他学部科目などから、任意に **6** 単位以上を修得（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：**48** 単位（年間））

〔バイオ環境学部 バイオサイエンス学科〕

合計 **128** 単位（必修 **69** 単位、選択 **59** 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から **50** 単位以上を修得。その内、未来展望科目から **4** 単位、アカデミック・スキル科目から必修 **5** 単位、英語科目から必修 **16** 単位、スタートアップ科目から必修 **4** 単位、キャリア教育科目から必修 **4** 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 **4** 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から必修 **4** 単位を含む **12** 単位以上、専門基礎科目から必修 **3** 単位を含む **16** 単位以上、専門科目から必修 **29** 単位を含む **40** 単位以上を修得すること。なお、選択 **42** 単位の内、**10** 単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：**48** 単位（1年次）**48** 単位（2年次）**48** 単位（3年次）**40** 単位（4年次）（年間））

〔バイオ環境学部 バイオ環境デザイン学科〕

合計 **128** 単位（必修 **48** 単位、選択 **80** 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から **50** 単位以上を修得。その内、未来展望科目から **4** 単位、アカデミック・スキル科目から必修 **5** 単位、英語科目から必修 **16** 単位、スタートアップ科目から

必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から 12 単位以上、専門基礎科目から必修 1 単位を含む 16 単位以上、専門科目から必修 14 単位を含む 40 単位以上を修得すること。また、学科専門科目の内、基礎科目の選択必修科目群から 10 単位以上、専門科目の選択必修科目群から 20 単位以上を修得すること。選択 63 単位の内、10 単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48 単位（1 年次）48 単位（2 年次）48 単位（3 年次）40 単位（4 年次）（年間））

〔バイオ環境学部 食農学科〕

合計 128 単位（必修 59 単位、選択 69 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から必修 4 単位を含む 12 単位以上、専門基礎科目から必修 8 単位を含む 16 単位以上、専門科目から必修 14 単位を含む 40 単位以上を修得すること。また、学科専門科目の内、専門科目の選択必修科目群から 14 単位以上を修得すること。選択 52 単位の内、10 単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48 単位（1 年次）48 単位（2 年次）48 単位（3 年次）40 単位（4 年次）（年間））

〔健康医療学部 看護学科〕

基礎分野教養から必修 11 単位を含む 14 単位以上、情報から必修 2 単位を含む 2 単位以上、外国語から必修 6 単位、専門基礎分野から必修 23 単位、専門分野看護の基礎から必修 26 単位、看護の実践から必修 35 単位、看護の発展とコミュニティーケアから必修 13 単位を含む 18 単位以上、合計 124 単位（必修 116 単位、選択 8 単位）以上を修得すること。

（履修科目の登録上限：24 単位（半期））

〔健康医療学部 言語聴覚学科〕

基礎分野から必修15単位を含む22単位以上、専門基礎分野から必修43単位を含む43単位以上、専門分野から必修59単位を含む59単位以上、合計124単位（必修117単位、選択7単位）以上を修得すること。

（履修科目の登録上限：24単位（半期））

〔健康医療学部 健康スポーツ学科〕

合計 124 単位（必修 51 単位、選択 73 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

専門科目から 74 単位以上を修得。その内、基礎科目から必修 6 単位、演習科目から必修 8 単位以上を修得。なお、他学部などで修得した単位は 6 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

〔工学部 機械電気システム工学科〕

未来展望科目・公民教養科目より 4 単位以上、語学科目より必修 10 単位を含んで 18 単位（外国人留学生は、日本語科目より 18 単位）以上、スタートアップ科目必修 4 単位、スポーツ科目必修 4 単位の計 30 単位以上を修得すること。

専門共通科目（基礎）43 単位より必修 35 単位を含む 36 単位以上、専門科目（基礎）12 単位より必修 3 単位を含む 9 単位以上、専門科目（応用・発展）47 単位より 24 単位以上、実験・実習科目 14 単位より必修 8 単位を含む 10 単位以上、総合演習 20 単位より必修 6 単位を含む 10 単位以上、その他学部専門科目全体より 9 単位以上修得すること。但し、総合演習の「キャップストーンプロジェクト ・ 」又は、「研究室プロジェクト ・ 」は、選択必修科目とする。

大学共通科目 30 単位以上と学部専門科目 98 単位以上を合わせて計 128 単位以上を修得すること。